



ボランティア紹介リレー

第13回

今回は、『手話サークル(夜の部)』からの紹介で、『チアフル・ママ』をご紹介します。

【活動日】毎月第3火曜日 午前10時～午後3時
【活動場所】アソビックスびさい(2階ミーティングルーム)
【会員数】1000名(メルマガ会員)
【その他】会員でなくても参加できます♪
(HP)<http://cheerful-mama.com/>



〈家族フェア〉

チアフル・ママとは？

「ママが笑顔なら子どもたちも笑顔に」との思いから、平成22年7月に子育てママサークルとして立ち上げました。現在は、女性であれば誰でも参加できるカルチャーサークルとして活動しています。

主な活動は？

皆さんが趣味や特技をいかして女性に嬉しい内容のブースを設けています。(上記□内参照) 専門知識のある方をお願いしているブースもありますが、どれも実費程度で体験できます。

また、年に1回、「旬の家族フェア」を一宮市民会館で開催しており、今年度は7月に開催しました。来年度は5月13日(日)に開催予定です。



活動のやりがい・魅力は？

皆さんが得意分野をいかして輝いている姿を見ると、この活動をしてよかったと思います。また、活動に参加いただくことで新しい仲間ができ、様々な年代の方と子育てや生活の悩みを共有・相談できる点が魅力の一つです。

市民の皆様へひとこと

女性の皆さん、チアフル・ママの活動へぜひ足を運んでください。1人で来るのは気が引けるという方もいるかと思いますが、笑顔いっぱいの明るいスタッフがお待ちしておりますのでご安心ください。子ども連れの方も体験中はスタッフが見ているのでお気軽にご参加いただけます。



〈活動風景〉

取材を終えて

参加している方、出展している方、スタッフの方、皆さんが明るく楽しく活動されており、「輝いている」という言葉がピッタリでした。ママサークルとして始まったため、子連れの方でも気軽に参加できる場所も魅力的ですね。

おあめふくしの本

いのちのいろえんぴつ

こやま峰子 / 文 豊島加純 / 詩・絵 マイケル・グレイニエツ / 絵 教育画劇



図書館で借りることができます。

10歳で脳腫瘍^{のうしゅよう}の発病。車いすで通った学校。少女は先生にもらった12色のいろえんぴつ^{つづ}で詩と絵を綴ります。マヒで右手が使えなくなると、左手を使って一生懸命。病気が進行していく中で、それでも周りのお友達や家族のことを思いやり、いつも前向きに生きた加純ちゃん。少女が綴った命の詩と絵の記録はまっすぐで力強く、わたしたちに勇気や希望を与えてくれます。親子で読んでほしい作品です。